

よどらコミュ!

西淀病院と医療人をつなぐコミュニケーション誌

Vol.9

2023.8



特集

2. 西淀病院内科専門研修プログラムの ココがすごい

CONTENTS

4. キラリ★西淀人 5. JOYS(女医ズ!) 6. I Love Patient 7. シリーズ職場REPORT





内科専門 研修プログラムの ココがすごい

内科専門研修プログラムを作りました

2020年に淀川勤労者厚生協会が4法人を合併して、1病院、10診療所となりました。大阪民医連全体では49医科診療所となっています。診療所での医療を志す方には総合診療プログラムがあり、多くの医師を輩出してきました。初期臨床研修では2009年から臨床研修指定病院としてこれまでに31名の初期研修医を育成してきました。

その中で病院で働く病棟医を担う人材を育成するために、新専門医制度の中で病棟の内科医師を生み出すプログラムの必要性が議論されてきました。

しかし、大阪府下の内科プログラムには定員数の上限があること、色々な院所との連携が必要なことから、当院では難しいと言われてきました。それでも病棟医は必要であると議論を重ね、民医連のスケールメリットを生かして2023年度に、定員1名の基幹型プログラムをつくることができました。

どのようなプログラムか

当院の内科専門研修プログラムは大阪府下では大阪民医連の4病院(西淀病院、耳原総合病院、コープおおさか病院、

東大阪生協病院)と淀川キリスト教病院と連携しています。また、大阪以外の非シーリング地域での勤務が必要となるため、尼崎医療生協病院(兵庫県)、下越病院(新潟県)、長野中央病院(長野県)、宇部協立病院(山口県)とも連携したプログラムを作成しました。

尼崎医療生協病院は西淀病院から電車で3駅しか離れていません。遠地での研修ができない事情のある専攻医も想定されるため、できるだけ異動の負担が少ないプログラムとしました。

プログラム内容は、専門科をたくさん回って症例を集めるのではなく、総合内科の主治医として様々な疾患・症例を経験することを重視したのになっています。それが、内科プログラムとしてはよいプログラムだと考えています。

例えば、将来、糖尿病内科のサブスペシャリティに進みたい場合、経験すべき呼吸器疾患は何が良いかと考えた時に、肺腫ばかり見るような狭い範囲の疾患に特化した専門医療だけの経験は適当ではなく、西淀病院や連携施設での、喘息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)、肺炎など、幅広いコモンな疾患を、たくさん経験しておくことが生きてくるはずだと考えています。

内科専攻医研修(モデル)【整備基準 16】

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	西淀総合内科			西淀消化器			西淀呼吸器			西淀糖尿病		
	JMECCの受講 当直研修、内科外来研修											
2年次	西淀											
	20疾患群以上の経験、登録・病歴要約10編以上の登録											
3年次	西淀、連携施設、特別連携施設											
	70疾患群を経験し、登録・登録した病歴要約の改定											

2編の学会発表または論文発表・CPC、医療倫理、医療安全、感染対策の講習会の受講



今の時代は、病院によって地域から求められる機能や役割が多様化しているため、総合病院での専門科研修ではコモンな疾患の経験を身に付けるのは難しいと思います。地域でのファーストタッチができる病院で、3~4ヵ月かけて数多くのコモンな疾患を経験することが大切であり、当院ではそれが達成できるプログラムになっています。

すごいところ・特徴

内科専門研修プログラムではJ-OSLERの症例登録がとても大変です。当院の専攻医は一学年に一人のため、それをサポートするシステムが大切です。

その点当院では、初期臨床研修や総合診療専門研修プログラムに携わってきた経験のある事務がサポートできる環境があります。後期研修はライフイベントが多い時期のため、本

人と話し合いながら最終的にプログラムを修了できるように、ライフイベントに合わせて柔軟にコーディネートできるのも強みのひとつです。

こんなおススメ

- 自分のペースで内科の力量を付けたい方
- サブスペシャリティをどうするか迷っている方
- ライフイベントで中断があるなど、相談にのってほしい方
- 患者さんに寄り添う医療がしたい方 など



落合 甲太 医師

西淀病院 副院長、日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医

医療チームに加わり
一緒に良い医療をしていきたい

これはいつも大切にしていることですが、研修を修了するためだけの研修ではなく、良い医療をしていく仲間として、地域の医療ニーズに応えていく中で一緒に成長していきたい、その中で良い研修にしていきたいと思っています。

医学生さん・研修医の先生方で興味を持っていただけたら、ぜひ一度お問い合わせください。いつでもお待ちしております。

今回は75歳でいまなお週に3日間呼吸器疾患を中心に外来診療を続けられている大野啓文先生です。10年前から患者さん向けの認知症の講座も毎月されています。ご自分の経験を交えたジェンダー平等の重要性と共に男性が料理や家事に携わることの大切さについてのお話です。

妻が腕を骨折してよかった？

主婦業の妻と2人暮らしで出勤は週に3日間とのんびり暮らしていた私に一昨年11月大事件が起こりました。左利きの妻が転倒して左の手首を骨折し「ギブス固定+2ヶ月要安静」の診断となりました。間の悪いことに出産まじかの娘が産後、孫を連れ2ヶ月ほど当家に来る直前でした。その日から妻の指導の下、毎日食事づくりに取り組むことになりました。まな板を出すところから調理、片付け、シンクの掃除まで朝は6時半から大忙しです。主婦の仕事の大変さを体験し、「少しは家事を手伝っている」という今までの思いは木っ端みじんに砕かれました。

その後、産後間もない赤ちゃんが娘がやってきて4人暮らしになり、ますますすることが多くなりました。さらに連日夜中もほとんど眠れないにもかかわらず、子育てに一生懸命の娘の姿を毎日見ている育児の大変さにビックリ!! 女性の家事の負担の予想以上の大きさを今さらながら実感しました。妻も3人の子育てをしてきましたが、夫の私がしたこと



は夜遅く病院から帰ってきて洗濯の済んだオシメを庭の物干しに干したくらい。妻の今までの大変さを思うと、その上にアグラをかいながら当たり前と思いがら生活してきた自分を深く反省しました。

そんな時、家事は認知症予防に良いと

いう論文を見かけました。家事をしている人は(1)家事だけで1日に必要な運動の約6割が達成されている。(2)家事をしている人は認知能力や記憶力が優れている、というものです。そこで改めて認知症予防学会会長の鳥取大学の浦上克哉先生が提唱されている「知的活動で認知症予防になる8つの鍛える行動(①近時記憶②視空間認知力③注意機能④作業記憶⑤遂行力⑥計算力⑦判断力⑧思考力)」を家事に当てはめて考えてみました。するとどうでしょう、そのすべてが家事・調理する際に沢山使われていました。妻の骨折は最近とみに物忘れが増えてきているのを自覚していた私にはぴったりのありがたい出来事だったのです。妻の骨折が治った現在でも、朝夕の食事を作る時間になると台所のシンクの前に妻と2人で立ち、献立からシンク掃除まで共同作業をしています。献立を妻と一緒に考えるのも、①③⑤⑥⑦⑧などの知的活動を鍛えていて立派な認知症予防になっています。

このことがあってから、私の外来診療の患者さんへの対応が大きく変わりました。少しも家事を手伝わぬ夫への不満や、子育ての大変さをかかえた患者さんへの共感の度合いが深くなりました。男性患者さんにはできるだけ家事を手伝い認知症予防をするように勧めています。今回改めてジェンダー平等の早急な実現が重要だと思いました。最近では西淀病院の若い男性ドクターも家事手伝いをよくしているようですし、出産に伴う子育てのための夫の育児休暇も堂々と取っています。「え～男の医者が出産休暇??」などと考えるのはだめな時代です。妻には悪いのですが「本当に妻が骨折して、この歳でいろんな事に気づけてよかった!」と思っています(でもこんなこと言うたらあかんのですが、妻の骨折中はほんまにしんどかったです～)。



日本一女性医師が働きやすい病院を目指して

女性医師に聞く!

大阪府岸和田市出身
2014年鹿児島大学医学部卒
現在医師10年目、西宮の教育を
考える市民の会で活動中。

ゆふね さちよ
湯舟 幸代 医師

家庭医療専門医

鹿児島生協病院で初期研修修了後、2017年から西淀病院で家庭医療の後期研修を始めました。初期研修1年目に双子男児を出産し、産後5ヶ月で職場復帰、子育てしながらの研修はなかなかハードでした。育休を8ヶ月取得し育児を完全マスターした夫と職場の皆さんのおかげで、何とか専門医を取得することができました。子どもが発熱した時の保育園からの電話は、常に夫が対応していましたが、3歳を過ぎた頃から、ほとんど病気になることもなくなりました。元気な子ども達にも感謝しています。

わたしの仕事

家庭医は、プライマリケア医ともいわれ、患者さんによりそい、新生児から高齢者まで、どんな疾患にも対応し、いつでも相談にのれる医師のことです。在宅医療や地域の保健、予防活動など、住民の健康を守る役目も担っています。

現在は西淀病院の地域包括ケア病棟と総合外来、ファミリークリニックなごみ、姫島診療所と、複数の職場で勤務しています。月曜は午前：病棟、午後：訪問診療、水曜は午前：診療所外来、午後：病棟など、目まぐるしい日々です。病院から診療所まで、自転車で移動することが多いですが、最近医局に電動自転車導入されたので、楽しくペダルをこいでいます。

病棟で担当する患者さんの多くは高齢者で、平均年齢は

80歳程度だと思います。疾患を完治させるというよりは、疾患と付き合いつつ、幸せな最期を誰とどのように、どこで過ごしていただくか、「患者中心の医療」の実践に日々チャレンジしています。西淀病院では看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種との連携がしやすく、医師同士のコミュニケーションもスムーズなので、とても働きやすいと感じています。

子どもの権利について

診療所では子どもを診ることも多いです。乳児検診や学校健診を担当することもあり、子どもたちの成長に関わることができるのは大きな喜びです。現代は、子育て世代の非正規雇用、共働き世帯や核家族が多く、一方で保育士や学校教員は不足しています。大人には経済的、精神的、時間的余裕がなく、その影響が子どもに及んでいると感じています。診療所では発達や不登校の相談などをされることもあります。保護者が孤立していないか、保育園や学校が、全ての子どもにとって過ごしやすい場所になっているのか、疑問に思っています。医師として、大人として、子どもの権利やインクルーシブ教育*についても幅広く関心をもち、日々学んで発信していきたいと思っています。

*インクルーシブ教育
子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障害によって学ぶ場所を分けるのではなく、全ての子どもが通常学級で学ぶことを目指す教育理念と実践プロセスのこと。2022年9月、日本は国連から障害者権利条約に基づく改善勧告を受けた。



I Love Patient
Vol.09

医師事務作業補助者とは？

医師事務作業補助者 今村 洋子

医師事務作業補助者とは、医師の代行として、診断書の文書作成や電子カルテへの入力など、医療機関における医師の事務作業を補助して、医師が診察業務を円滑に行えるようにサポートする事務のことを言います。医療機関では医師の事務作業が数多く発生するため、現在、医師事務作業補助者は社会的なニーズが高まっています。日本は将来的に高齢化が一層進み、2040年には高齢化率が35.3%、つまり3人に1人が高齢者になると予測されています。超高齢社会の次ステージを迎えつつある現在、医療の質向上・医師の働き方改革に欠かせない役割を担うことが、医師事務作業補助者のニーズが高まっている理由となっているようです。

いずれも患者さんの治療にかかわる重要性が高い文書であるため、ミスがないように文書作成を行わなければなりません。細心の注意を払い書類のひとつひとつに真摯に向き合い、電子カルテの経過を追い記載や作成を行っています。

患者さんの安心と信頼のため

医師事務作業補助者として、地域の患者さんに直接関わること、直接お顔を拝見出来る機会は数少なく、とても貴重な場面となります。私達医師事務作業補助者は、患者さんに寄り添い、安心安全の医療をお届けするため、預かってから2週間の間に書類を手元にお渡し出来ることを目標とし、迅速丁寧に対応することを心掛けています。「西淀病院で良かった」と思っていただけよう病院と患者さんとの信頼関係を結び架け橋となり、地域を支える医療従事者として、これからも地域とともに成長し続けていけたらと思っています。

医師事務作業補助者と医療事務の関係

医療機関には医療事務と呼ばれる職種もあり、医師事務作業補助者と医療事務は名前が似ているため、両者の違いが気になる人も多いと思います。医療事務として当院で勤務している職員を大きく分類すると「医事課」「健診課」など窓口業務担当、「各病棟を担当する医事課」や「地域医療連携室」などにも医療事務が存在します。主な仕事内容は医療機関における患者さん対応・事務作業であり、来院患者さんへの対応や外来・入院医療費の計算と会計処理、保険者へ請求するレセプト作成などを担当しています。対して私達医師事務作業補助者は医師の指示に従って診断書などを作成する、「医師の業務負担を一部軽減する」仕事です。名前は似ていても仕事内容や活躍するフィールドは異なります。他医療機関宛てへの診療情報提供書など、い



シリーズ 職場 REPORT

第9回 情報管理課

医療の質・仕事の効率化に
ITでアプローチ



情報システム室と診療情報管理室について

「情報管理課」は大きく分けて「情報システム室」「診療情報管理室」の二つの業務を担っております。

「情報システム室」では、電子カルテをはじめ、院内のネットワークや検査システム等の管理を行っています。診療所で使われているような電子カルテとは機能の数や規模が異なり、使用されている端末も数百台に上るため、電子カルテのメーカーとも連携して管理にあたっています。

また、それら膨大な情報を保護するセキュリティ管理も行っています。セキュリティと利便性は基本的にトレードオフの関係にあり、両立が難しいところで、セキュリティ性確保のために職員さんたちに不便を強いることもあります。しかし、昨今は医療機関がランサムウェア(マルウェアの一種で、感染するとデータを暗号化してユーザーに利用できなくさせ、復旧のために身代金を要求してくるもの)の被害にあう事例も増えてきているので、ご理解を頂きたいところです。

また、医療の質の向上や仕事の効率化について、主にIT

を使ったアプローチでの解決法の模索・提案も行っています。

「診療情報管理室」では、診療情報の管理・運用を行います。患者さんの診療情報を記録するカルテが、量的・質的に基準を満たしているか、遵守しなければならない法律や規制に則って運用されているかを確認し、満たせていない場合には各部署へフォローして必要な情報を集めてカルテの質を高めます。例として、カルテの内容に不備がないか、必要な情報が全て記入されているか、必要な書類がそろっているか、などです。

直近の取り組みとしては、情報管理室でタイムスタンプを用いた文書管理導入に取り組みました。これまで、患者さんに頂いた署名や、他院からの情報提供書は、電子カルテへのスキャン取り込みとは別に紙媒体でも管理していましたが、現在はQRコードと組み合わせて自動取り込みの仕組みを導入し、デジタル署名して電子媒体のみで管理しています。



クイズ

7つのまちがいさがし

正解者の中から抽選で5名に
図書カードを進呈します。

(但し医師・看護師及び医系学生の方に限ります)

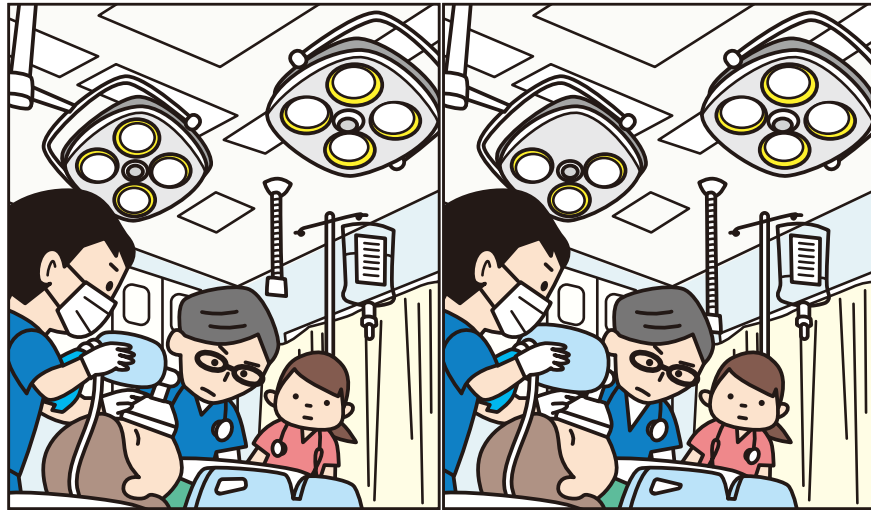
締切日: 2023年12月末到着分

はがき又はE-mailで答えを送ってください。

- ・クイズの答え・感想
- ・氏名・職種・職場名又は学校名
- ・住所・電話番号・E-mail

E-mail: igakusei@yodokyo.or.jp

郵送: 〒555-0024 大阪市西淀川区野里3-5-22
西淀病院医局事務課 よどコミュ担当 宛



患者さんと向き合う
中小病院ならではの医療を、
ともに目指しませんか?

研修医・医師・看護師募集中!

病院見学・実習随時可能。お問い合わせください。

公益財団法人 淀川勤労者厚生協会 西淀病院
〒555-0024 大阪市西淀川区野里3-5-22
TEL: 06-6472-1141 (代表)
医師/看護師採用担当までご連絡ください。

編集後記

大阪民医連初期研修医2年目
医師が呼吸器内科のローテート
で約1か月の西淀病院での研修
を終え、感想を述べてくれまし
た。西淀病院は「患者さんと医
療との二人三脚で、繋がりを
大切に、地域と繋がっている病
院」だと。

今年は大阪民医連創立70年、
大阪民医連の常勤医師は240
人となり、史上最大の医師集団
となりました。法人としては
2018年に公益財団法人の
認定を受け、コロナ禍でも地
域の方々との共同の取り組み

を進めてきました。食糧支援
や熱中症予防訪問、無料定額
診療事業等の活動、行政や地
域の団体との地域診断等医師
を先頭にアウトリーチ活動を
進めています。特集にあるよ
うに、当院では西淀病院内科
専門研修プログラムがスター
トし、2024年度は初期研
修医枠が2人から3人と定員
増に。医療の質と研修の質、
医師増員の要求が実った年と
なりました。これからも歩
ます地域の皆さんとともに歩
き続けていきたいと思えます。

淀川勤労者厚生協会西淀病院

救急指定病院 基幹型臨床研修指定病院

大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL: 06-6472-1141

診療科目

内科(呼吸器、循環器、消化器、神経、糖尿病・代謝)
外科(整形外科・婦人科・泌尿器科・放射線科)
小児科・リハビリテーション科・血液浄化室(人工透析)

総ベッド数: 218床

一般病棟: 108床

回復期リハビリテーション病棟: 56床

地域包括ケア病棟: 54床

血液浄化室(人工透析): 25床

